

平成30年度宮城県生活習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会 会議録

- 1 日時:平成31年2月7日(木)午後4時から午後5時まで
- 2 場所:行政庁舎7階 保健福祉部会議室
- 3 出席委員(五十音順, 敬称略):小澤 信義, 佐々木 悦子, 八重樫 伸生, 山田 秀和
- 4 会議録

(司会)

ただ今から平成30年度宮城県生活習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会を開催いたします。

本日の会議は,お手元に配布した次第に従いまして進行させていただきます。始めに,本日の資料の確認をさせていただきます。

(資料確認)

(司会)

開会にあたりまして,宮城県保健福祉部参事兼健康推進課長の田村より御挨拶いたします。

(田村課長)

本日は,お忙しいところ御出席いただきありがとうございます。また,健康推進事業の推進に日頃から御協力いただき,心より感謝申し上げます。

生活習慣病検診管理指導協議会につきましては,がん検診の実施方法及び精度管理に関する重要事項を審議するために設置されたもので,協議会の下,7つの専門的な部会が設けられています。

本日開催する子宮がん部会は,早期のがんをできるかぎり発見するとともに,検診の診断技術の維持向上に資するものであり,市町村の行うがん検診事業の質の維持管理に寄与するものであります。

本日は,がん検診精度管理等調査結果等から市町村への指導事項案について,忌憚のない御意見を賜りますようお願いいたします。

(司会)

ここで,本日御出席いただきました委員の皆様を御紹介いたします。

(委員紹介)

(司会)

それでは、次第3、部会長の選出に移ります。条例に基づき、部会長は委員の互選によることとなっておりますが、いかがでしょうか。

(八重樫委員にお願いしたい、との委員発言あり)

(司会)

八重樫委員にとの発言がありましたので、東北大学病院 病院長 八重樫伸生委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

(委員)

異議なし。

(司会)

皆様に御賛同をいただきましたので、部会長は八重樫委員にお願いいたします。八重樫部会長におかれましては、部会長席に御移動願います。

それでは、部会長より御挨拶を頂戴します。

(八重樫部会長)

この会は毎年やっておりますが、子宮頸がんのがん検診制度をよく見ていく、各地域での協議会をどうするかというところの振り返りをする、あるいは来年度の方向を決めるという非常に大事な会議になっておりますので、御審議をどうぞよろしくお願いいたします。

(司会)

それでは、ここからの議事の進行につきましては、八重樫部会長にお願いいたします。

(八重樫部会長)

次第に従いまして、説明「宮城県生活習慣病検診管理指導協議会及び部会について」事務局から説明をお願いします。

(資料1について事務局説明)

(八重樫部会長)

特に質問がなければ、報告「平成30年度子宮がん検診精度管理等調査結果について」に移ります。

本日の協議に関連する内容ですので、協議に先立ち事務局から説明をお願いします。

(資料2, 3, 4, 5について事務局説明)

(八重樫部会長)

ただ今の説明について、委員の先生方から意見や御質問などありますか。

追加資料として、平成25年度からの子宮頸がん検診受診率の推移を事務局に出してもらいました。受診率が下がってきていることが明らかかと思えます。クーポン券が出た頃は受診率も良かったと思うのですが、その辺について小澤先生いかがでしょうか。

(小澤委員)

クーポン券ですが、始まった当初は受診率が高かったのですが、年々下がっています。対象も狭まり現在は20歳にしか配布していません。20代は受診率も低いので効率は良くないと言えます。20歳よりも30歳にクーポンを配布する方が効果があるのではないかと話もあります。佐賀県では受診率の高い30歳に配布して効果があがっているようです。国の補助は20歳にしか出ませんが国と相談して30歳に配布していると聞いています。

(八重樫部会長)

佐々木先生、いかがでしょうか。

(佐々木委員)

小澤先生のお話のとおり、20歳では少し早いのではないかと、意識の高い25歳位にクーポンを配布するのが良いのではないかと思います。30歳は意外と申し込んで受診しておりますが、20歳ですと性交経験がない方もいて検査は少し躊躇するかもしれません。

(八重樫部会長)

山田先生、いかがでしょうか。

(山田委員)

資料6 ページを見ると、20～24歳はCINがほとんど見つからない。30歳から急にCIN、がんが見つかる。20代前半はCINはさほどない。小澤先生がおっしゃるとおり、CINをきちんと引っかけるのであれば、20歳よりは30歳というようなデータに見えます。

(八重樫部会長)

確かに20歳で1回だけというのはどうかと思いますね。

(佐々木委員)

性交経験のない子の方が一生懸命受診してくる、矛盾しているなど思います。

(八重樫部会長)

クーポンは来年度も20歳で配布されるのでしょうか。

(事務局)

そうなると思います。現時点での対象は20歳のみになっておりまして、市町村からは5歳階級刻みでもう少し無料クーポンを配布してほしいとの声は出ています。

(八重樫部会長)

そのような点をもう少し考えていただけるといいですね。

平成27年度は利用率が下がっているんで、その分の予算は使わなかったということになるのしょうから、その分を25歳なり、30歳に使えると良いのしょうが。

20歳だけではなく25歳でクーポン配布できると良いのかもしれないね。

(事務局)

国への要望事項として、20歳だけではなく、クーポン対象の拡大の働きかけを行って参りたいと思います。

(八重樫部会長)

よろしくをお願いします。

それでは、その他に何かございませんか。

(山田委員)

今回初めてなのでちょっと教えていただきたいのですが、精密検査の受診率が、一昨年85%だったのがその後86%、92%と上がってきています。これは何か理由があるのですか。

(八重樫部会長)

これは、5万人の検診規模を抱える仙台市の精密検査受診率が一時低い時期がありまして、そこにてこ入れをしたことで受診率が上がってきたのだと思います。もともと対がん協会が勧奨を行っていましたが、仙台市も手紙を出すなど勧奨を行ったと思います。

また、一部の医療機関が未把握という扱いになっていたんで、その施設に直接指導をして報告をもらいました。精密検査をやっているのだけれども、それが報告されていなかったということですね。

他に委員の方から、何かございますか。

ないようですので、これで本日の議事は終了いたします。円滑な運営に御協力いただきありがとうございます。

進行を事務局にお返しします。

(司会)

八重樫部会長, ありがとうございます。

委員の皆様には, 貴重な御意見をいただきありがとうございました。

本日, 御審議いただいた内容につきましては, 3 月に開催いたします第 2 回生活習慣病検診管理指導協議会において, 八重樫部会長より御報告をいただきます。

さらに, 各部会で御審議いただきました内容を合わせて指導事項を決定し, 各市町村及び検診団体へ通知いたします。

それでは, 以上をもちまして本日の会議を終了いたします。